

奥秩父 甲武信岳山行記録

記:鳥切昇治



期 日:2020年2月23日(日)~24日(月) 甲武信岳山頂の二人

山 域:奥秩父 甲武信岳(2475m)

メンバー:(L)エミ 奥田幹展 鳥切昇治

行動記録

2月23日(日)天候:晴 アプローチ

横須賀・横浜・伊勢原~厚木 IC~勝沼 IC~17:45 西沢溪谷入口(道の駅みとみ)

*道の駅みとみの標高 約 1100m

2月24日(月)天候:晴 甲武信岳ピストン・帰宅

コースタイム

道の駅 5:00—5:29 近丸新道登山口—5:38 徳ちゃん新道登山口—7:52 近丸新道合流—(アイゼン装着)—10:05 破風山分岐—10:12 木賊山 10:22—10:35 甲武信小屋 10:44—11:02 甲武信岳 11:14—11:28 甲武信小屋 11:38—(巻道引き返し)—甲武信小屋 11:

52—12:08 木賊山 12:14—破風山分岐 12:19—13:50 近丸新道分岐(アイゼン脱) 14:02—15:31 徳ちゃん新道登山口—近丸新道登山口 15:36—16:02 道の駅

エミさんのリードでストレッチ、体を温めてから道の駅を出発する。気温マイナス4度、空には星が瞬いている。キャップライトの明かりを頼りに西沢溪谷への舗装された林道に入る。雪は全くない。近丸新道登山口を過ぎ、橋を渡って登って行くと右手に徳ちゃん新道登山口の標識があった。明かりの奥に建物(西沢山荘)が見えた。

徳ちゃん新道に入る。カラマツ林の中の急登が始まる。尾根筋に出て広葉樹林の中を登っていると右手の稜線から上がってくる日の出を迎えた。冷えていた体がぬくもるように感じた。急登が続く。左手に樹間から鋸の歯のような山が見える。あれが鶏冠山(とさかやま)か? そう言えば鶏のトサカの様にも見える。雪が所々に出て来た頃、近丸新道の道に合流した。



富士山が見えた



樹間から鶏冠山(2115m)?



木賊山(とくさやま:2469m)山頂

シャクナゲ林の下りで氷と雪がミックスされた所でアイゼンを装着する。この辺りからシャクナゲが多くなり、6月頃は見事だろうな、、、と想像する。戸渡尾根のシラビソ林の中を登る。岩場に出た所で視界が開け、富士山が見えた。傾斜が緩くなり、右手に巻いて行くと標識があり破風山への分岐に出た。そこから左にシラビソ林を行くと木賊山に着いた。ここは林の中で視界が悪い。ペースはゆっくりだがここまで約5時間、3人も元気に登って来た。シラビソの木に標識があり「鶏冠山 危険」と書いてあった。奥田君がスマホの地図で調べると木賊山からのルート表示があった。道があるのではないかと

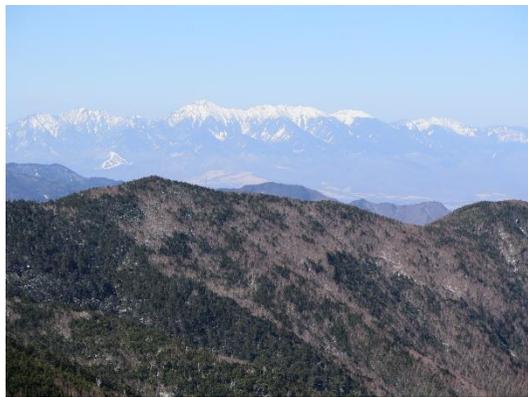
林の中を調べたが雪の中では道らしき形跡は見付けられなかった。

下りに入り林が切れた所から正面に甲武信岳が青空の中にくっきりと見えた。下りきった鞍部の右下に甲武信小屋が建っていた。小屋前の陽だまりはひっそりとしていた。今は営業していない。

山頂へ急坂を登る。甲武信岳山頂は360度の眺望。霞の中の富士山、南アルプス



甲武信岳山頂で



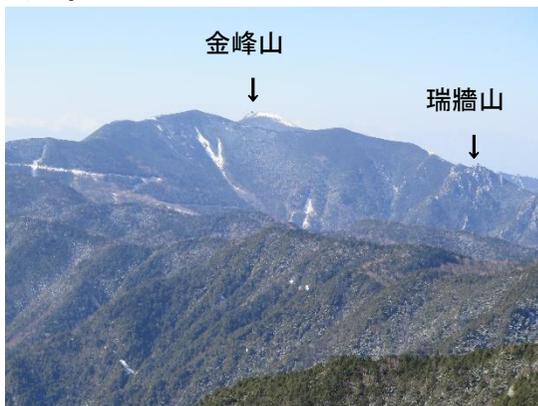
甲武信岳山頂から八ヶ岳

する。戻ってから木賊山に登り返す。大分時間をロスしてしまった。登って行くと子供2人を連れた軽装の4人と会う。軽アイゼンを履いて危なっかしい足取りで下って来た。これから甲武信岳に登るのだろうか？他人事だが心配になる。

木賊山で一息入れてから本格的な下りにかかる。戸渡尾根の急坂を、よく登って来たものだと感心しながら下る。この辺りから私の左足のアイゼンが時々外れる。ワンタッチアイゼ



甲武信小屋は静寂の中にあつたの甲斐駒と北岳、八ヶ岳、金峰山などが見渡せる。記念撮影をしてから甲武信小屋へ下る。



甲武信岳山頂から金峰山と瑞牆山

腹ごしらえをしてから下山にかかる。エミさんが木賊山の巻き道にトレースがあると言うので巻き道に入る。ところが10分も歩かない内にトレースが消えた。あきらめてバックしたようだ。シラビソ林を覗く。トレースをつけて進むには時間的にも難しいのでバックすることに

ンで下りの衝撃で緩んだようだ。履き直す度に2人を待たせるので申し訳ないと反省する。(靴のアイゼンがはまるサイズは左右で若干異なる。同じスパンに合わせたのが外れる要因になったと思われる。六角レンチで調整すれば済むことであった。)

近丸新道の分岐に着いた。ここでアイゼンを外す。長い下りで膝が笑ってくる。疲れも出てきて、ただ黙々と下る。沢音が次第に大きくなってきた。徳ちゃん新道登山口の舗装道路に出た。お疲れさまと握手を交わす。林道を道の駅に向かって歩く。



徳ちゃん新道登山口に戻って来た



林道を道の駅に向かって歩く



広瀬ダムと道の駅が眼下に見える

道の駅で「ほうとう」を食べようと話しながらのんびりと。(残念ながら「ほうとう」は15時でオーダーストップ。結局食べられなかった。)

最後に高齢の私のペースに合わせて歩



道の駅みとみ(右奥は木賊山?)

いて頂いた二人に感謝します。ハードでしたが楽しい一日でした。

(参考データ 歩行距離:16.4km 累積標高(上り/下り):1818m/1820m)

以上